

平成13年5月(2001年)No. 425

柳川撮影会作品は出来ましたでしょうか 5月例会での公開コンテにぜひご出品を

去る3月17～18日に行われた柳川撮影会作品は、いよいよ5月例会で公開コンテストを行います。たっぷりまとめの時間がありましたので、参加された皆さん全員のご出品を期待しております。作品は12分以内でお願いします。優秀作品は秋の映像フェスティバルで上映します。出品者にはもれなく記念品(DVテープ)を差し上げます。

5月例会のお知らせ

5月例会は26日(第4土曜日)午後6時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)で開催します。今回は柳川の雛祭作品の公開審査を中心に行いますが、時間の許す限り一般作品も受付しますので、一応ご持参ください。なお、今月は研究会はありません。撮影会へ行かれなかった人も含めて、大勢の会員諸氏のご参加をお待ちしています。

4月作品研究会のレポート

今月は久方ぶりに一般作品による作品研究会で、11名の参加と8本の出品があり、時間をかけて研究会らしい雰囲気ではほぼ時間一杯の研究会となりました。次回は6月となります。

■上映作品

1. 荒神を里に迎える：玉井氏、13分7秒。滋賀県伊庭のみこし坂おろしを仮編集(ノンナレ)され、これをどうまとめたらよいか意見を聞きたいと持参されたもの。記録にするか映像作品にするか、まず基本的な考えをはっきりする必要がありそう。まとまればいい作品になると思います。
2. USJ第1部、第2部：増池氏、7分30秒、8分35秒。遂にというか、とうとう、というか、OMCにUSJが初登場。被写体は一杯ありそうですが、作品としてまとめるには難しそう。子供さんなど主役が欲しいところです。US

Jの中にはビデオ撮影禁止のところもある様です。

3. 改作・国を失った人たち：西村氏、12分45秒。大阪ビデオクラブのビデオフェスティバルで発表された10分ものとの比較を見て欲しいと出品されたものですが、3分ほど長くなった分、奥行きが深くなったようです。

4. 淡路人形浄瑠璃：合原氏、12分40秒。舞台撮影の問題提起として上映されました。2回同じストーリーを撮影し、1本にまとめたが、合わせる難しさが話題となりました。

5. 羊の毛刈り：有村氏、7分41秒。ニュージーランド紀行ものの一つで羊牧場で、毛刈りをするシーンをあますことなく撮影、日本ではなかなか撮影できないテーマで勉強になりました。

6. 服部緑地：那須氏、7分。某クラブの女性モデルを使った撮影会作品。モデルを使った撮影のあり方について、閑世話役よりアドバイスがありました。題名は「花と女」にしたらとの提案もありました。

7. 武奈ヶ岳スノーハイク：進藤氏、12分。新入会者の初出品昨。同行者へ贈呈するためにまとめた長編の作品を短くして持参されました。パソコン編集も手掛けられているようです。ここで初心者のための編集のコツを司会の合原会長からアドバイスがありました。次回作が楽しみです。

8. 高野山：増池氏、7分。3年前の撮影会作品を取り直しに云って再編集された由。大阪市視聴覚ビデオメッセージで入選された作品。編集の細かいところで意見と助言がありましたが、もう少しで「入賞」となるかも。ここでは定刻の5時になり、例会までの休憩に入りました。

4月例会のレポート

4月の例会は28日の午後6時よりいつもの例会場で研究会に引き続き開催しました。司会、閑さん、書記、有村さん、デッキ係に渡辺さん、受付兼照明係を増池さん、安居良枝さんの担当で進行しました。

◆出席者：森、閑、安居利、安居良、江村、那須、有村、森口、松本、森下、今井、増池、中尾、西村、久一、玉井、合原、渡辺、進藤、勝の皆さん（敬称略）の20名と作品本数10本でした。

◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村 博世話役）

1) みなと神戸 安居 良枝さん 7分40秒

神戸のハーバーランドからメリケン波止場にかけて丹念に撮影され美しい画像に仕上がっています。お昼頃から夜にかけての取材だそうで、夜景も美しく表現していました。ナレーションで余計なお話をしますと、鑑賞の妨げになってかえってマイナスになるように思います。この作品はナレーションがない方がよかったように思いました。

2) 知恩院と法然 安居 利次さん 8分50秒

いつもの様によく調べられて作っておられます。安居さんは、このところ歴史ものを深く掘り下げた作品を多く手掛けられており、現在は撮影できない過去の話映像化のご苦労は理解できますが、プロが多額の費用をかけて作った映像に頼らず、アマチュアとして、どう映像表現するか、是非研究してみたいと思います。

3) 聖なる河 合原 一夫さん 9分50秒

北インドの聖地ベナレスでのガンジス河の沐浴を主題にした見事な作品で

す。一般的に信仰している人々を撮影するのは何となく気のひける事で、十分なアップが撮れないものですが、これはなかなか迫力のある映像で構成されています。信仰に生きる人達という好被写体に目をつけられたのが成功したのでしょう。

4) パリの舞 渡辺 雄史さん 7分20秒

タイに観光旅行に行かれて、目の前で踊ったケチャックダンスを撮影されたものです。最初にこの踊りの由来が語られ、踊りの中身の物語が説明されて後に踊りが披露されます。異文化の一端に触れられた作者の感想が最後にあれば、立派な作品として完成するのではないのでしょうか。

5) 春の雪 増池 茂さん 4分25秒

大阪天満宮の梅の花が満開の美しい映像が続いてぼつぼつ雪が降り始めるという構成になっています。「なごり雪」のタイトルを「春の雪」にしますとの事でしたが、このままではタイトルの背景の降る雪だけが邪魔です。いっそ「春なお浅く」として最後まで雪景色を出さない方が雪が強調されてより印象的になるように思います。ご一考ください。

6) 柳川雛まつり 関 剛さん 6分30秒

ベテラン関さんの栄えあるノンリニアの第1回作品だそうです。日頃アップを主体に撮影されていますと作品が作り易いという見本の様な作品です。ただ三味線のお稽古の所は最後に、お雛さんを飾ったロングが出ましたが、直接祭との関連はなさそうですし、いくら現場で歌っていたからって「春のうららの隅田川」を入れたのは如何にも関さんらしくありません。もっとも来月のコンテストには別の作品を出されるそうです。

7) バンジージャンプ 有村 博さん 7分52秒

3月にニュージーランド旅行をした時に撮影したものです。2箇所、延べ1時間程の撮影時間でしたが、思ったように飛んでくれる人が次々に居る訳でもなく、もっと撮影場所の移動もしたかったのですが、思うようには行きませんでした。でも類似の作品は今までに見た経験がないのでまあいいか・・・、といった所です。

8) 立山、黒部アルペンルート 那須 典彦さん 8分25秒

昨年5月末頃にケーブルの立山を出発、最初は青葉、若葉の景色ですが、弥陀ヶ原、室堂と標高を上げますと、そこは素晴らしい残雪の冬景色が展開します。そして最後に黒部ダムで再び初夏の美しい情景で終るといふ、素晴らしい音楽ともマッチした楽しい作品でした。

9) 和紙のふるさと花みこし 森口 吉正さん 7分00秒

長良川に沿った岐阜県美濃市本庄町は「うだつの上があった」古い町並みが残っています。昔からの和紙の生産地で、その和紙を桜色に染めて丹念に作った和紙の花神輿を担いだ若衆がやってきます。そのさくら祭が本題でした。この構成でしたら、「美濃の花みこし」の方がよりの確なタイトルではないか、とのご意見がありました。

10) YOSAKOI 江村 一郎さん 8分54秒

前回11分35秒で発表された作品を2分41秒縮められての再登場です。アップの迫力満点の江村さんらしい作品ですが、前回からロングの画面を主に除かれた様で、その為と同じ手法の繰り返しになって最初より逆に長く感じられたようです。勿体なくて中々切れない様ですので、少しロングを入れて変化

をつけ今位の長さで再度見せてほしいように思います。

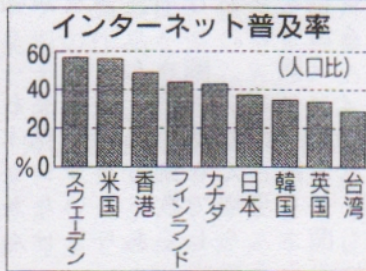
以上で会員さんの作品上映を終り、何時ものように喫茶店と居酒屋に別れて2次会を楽しみました。

■インターネット

現状の通信インフラの下では、インターネット映像を楽しむには、まだまだ技術的に改良すべきことが多く、綺麗な映像を見られる状況にないのが実情ですが、IT革命 (Information Technology) を官民一体となって推進していることから、そう遠くない時期にブロードバンド化が実現するであろうと思います。日本のインターネット普及率は、諸外国に比べてどうなのだろうか？前々から疑問に思っていたことですが、先日の日経紙に各国の普及率グラフが載っていたので、下記に転載します。

これによると、日本・韓国はインターネット中進国で、先進国スウェーデン、米国に及ばないことが判ります。しかし政府が進めているブロードバンド対応策 (CATV、ADSL、無線方式→光ケーブル=最終的には光ケーブル) が実現すると、日本は一挙に高速インターネット分野で TOP に躍り出ることは間違いありません。

日本国内のインターネット利用者が二〇〇〇年末に前年末比七四%増えて四千七百八万人になったことが、総務省が二十四日発表した調査結果でわかった。NTTドコモのiモードサービスなどネットに接続で



国内ネット利用 4700万人に急増

昨年末、総務省調べ

きる携帯電話が急速に普及したのが主因だ。全人口に占める利用者の割合は一・七倍の三七・一%となったが、依然として米国の三分の二の水準にとどまっている。

ネット利用者のうち、最も多いのはパソコンを使っている人で三千七百二十三人。ネット接続型の携帯電話は二千三百六十四万人で、前年末の四・一倍に急増した。

ネット携帯電話の世帯普及率は前年の八・九%から二六・七%に高まった。総務省は「携帯だけでネットを利用している人が増えている」とみている。

VIDEO 4月のインターネット例会作品紹介

「聖なる河」合原一夫作品 (画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for ISDN modem	3274KB 9分40秒
1			